



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4524 URL <https://www.iintan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 森田 真司 TEL 06-6761-1131
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,685	2.7	317	110.8	319	104.0	227	61.8
2019年3月期第1四半期	2,616	△2.5	150	△30.1	156	△26.8	140	△4.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 213百万円 (△24.4%) 2019年3月期第1四半期 283百万円 (75.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	56.02	—
2019年3月期第1四半期	34.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,220	9,833	69.1
2019年3月期	14,121	9,771	69.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 9,833百万円 2019年3月期 9,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	37.50	37.50
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	37.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,000	△2.6	150	△32.4	160	△31.0	110	△44.2	27.04
通期	10,000	△0.9	380	△9.0	400	△11.0	300	△14.7	73.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	4,150,000株	2019年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	82,547株	2019年3月期	82,547株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,067,453株	2019年3月期1Q	4,067,535株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、横ばい圏で推移しております。企業収益は高水準を維持しておりますが、海外経済の減速や世界的なIT需要の減退などから製造業を中心に頭打ちとなっております。個人消費は、雇用所得環境の改善が続いておりますが、物価上昇による実質所得の伸び悩みや食料品の相次ぐ値上げなどに伴う消費者マインドの弱含みを受けて緩やかな持ち直しにとどまっております。消費者物価上昇率（生鮮食品を除く総合）はエネルギー価格の上昇幅縮小を主因として鈍化傾向が続いております。また、原材料費、物流費、人件費などのコスト増を価格転嫁した外食や食料品の伸びを受けてプラスとなっておりますが、ゼロ%台半ばにとどまっております。物価の基調は弱い状況であります。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとし、引き続き積極的な営業活動を展開しております。当第1四半期連結累計期間においては、機能性表示食品「ヘルスイド®シリーズ」の販売が前年同四半期と比べ減収となりましたが、フレーバーカプセルの受託や、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同四半期と比べ増収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,685百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益317百万円（前年同四半期比110.8%増）、経常利益319百万円（前年同四半期比104.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益227百万円（前年同四半期比61.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より経営管理区分の変更に伴い、従来「その他」に区分しておりました子会社の一部について、「ヘルスケア事業」へ区分しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、機能性表示食品「ヘルスイド®シリーズ」が前年同四半期と比べ減収となりましたが、メディケア商品が前年同四半期と比べ増収となり、売上高は、1,932百万円と前年同四半期と比べ1百万円の増収となりました。

損益面では、売上高が低調に推移するなか、効率的なプロモーション活動等に努め、セグメント利益は、174百万円と前年同四半期と比べ67百万円の増益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、プロバイオカプセルやその他の受託については前年同四半期と比べ減収となりましたが、フレーバーカプセルが前年同四半期と比べ増収となり、売上高は、686百万円と前年同四半期と比べ3百万円の増収となりました。

損益面では、効率的な研究開発投資に努めたこともあり、セグメント利益は、88百万円と前年同四半期と比べ32百万円の増益となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、66百万円と前年同四半期と比べ64百万円の増収となりました。

損益面では、セグメント利益は、54百万円と前年同四半期と比べ66百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が92百万円、仕掛品が23百万円、原材料及び貯蔵品が23百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は8,431百万円となりました。

この結果、総資産は、14,220百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が55百万円、賞与引当金が35百万円、設備関係支払手形が52百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は1,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に約定返済により長期借入金が83百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,387百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は9,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が75百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.1%（前連結会計年度末は69.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,293	2,214
受取手形及び売掛金	1,634	1,727
商品及び製品	713	696
仕掛品	455	478
原材料及び貯蔵品	499	523
その他	106	160
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	5,691	5,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,804	1,774
機械装置及び運搬具（純額）	970	934
土地	2,217	2,217
建設仮勘定	17	52
その他（純額）	347	343
有形固定資産合計	5,358	5,322
無形固定資産		
投資その他の資産	271	319
投資有価証券	2,735	2,722
その他	65	66
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,800	2,789
固定資産合計	8,430	8,431
資産合計	14,121	14,220

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	821	877
1年内返済予定の長期借入金	334	334
未払法人税等	96	80
賞与引当金	191	227
役員退職慰労引当金	118	—
返品調整引当金	41	36
売上割戻引当金	21	27
設備関係支払手形	33	86
その他	661	733
流動負債合計	2,319	2,402
固定負債		
長期借入金	860	776
繰延税金負債	557	582
退職給付に係る負債	576	571
その他	36	54
固定負債合計	2,030	1,985
負債合計	4,350	4,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	4,479	4,554
自己株式	△139	△139
株主資本合計	8,841	8,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	928	915
退職給付に係る調整累計額	1	1
その他の包括利益累計額合計	930	916
純資産合計	9,771	9,833
負債純資産合計	14,121	14,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,616	2,685
売上原価	1,243	1,224
売上総利益	1,372	1,461
販売費及び一般管理費	1,221	1,144
営業利益	150	317
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	6
その他	1	1
営業外収益合計	12	8
営業外費用		
支払利息	2	1
その他	3	3
営業外費用合計	5	5
経常利益	156	319
税金等調整前四半期純利益	156	319
法人税、住民税及び事業税	46	66
法人税等調整額	△30	25
法人税等合計	15	91
四半期純利益	140	227
親会社株主に帰属する四半期純利益	140	227

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	140	227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	143	△13
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	142	△13
四半期包括利益	283	213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283	213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,930	683	2,613	2	2,616	—	2,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,930	683	2,613	2	2,616	—	2,616
セグメント利益 又は損失(△)	106	55	162	△12	150	—	150

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,932	686	2,619	66	2,685	—	2,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,932	686	2,619	66	2,685	—	2,685
セグメント利益	174	88	262	54	317	—	317

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の変更に伴い、従来「その他」に区分しておりました子会社の一部について、「ヘルスケア事業」へ区分しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。